

予 算 特 別 委 員 会

● 質問者

志賀 秀之 (いばらき自民党)	川口 政弥 (自民県政クラブ)	設楽 詠美子 (民進党)	江尻 加那 (日本共産党)	安藤 真理子 (いばらき自民党)	本澤 徹 (無所属)	先崎 光 (いばらき自民党)	高崎 進 (公明党)	石井 邦一 (いばらき自民党)
-----------------	-----------------	--------------	---------------	------------------	------------	----------------	------------	-----------------

志賀秀之委員(自民) 太陽光発電施設については、パネルなどの発電施設が事業の終了後に確実に撤去されるのかを、特に心配している。今後どのような姿勢でこの問題に向き合い、取り組みを進めていくのか。

知事 固定価格買取制度終了後に設備が残置されるような事態については懸念を持っており、事業者が倒産してしまつた場合も含めて、新たな対策が必要だと考えている。事業者または国の責任において、撤去処分まで含めた適切な制度整備をすべきと考えているが、それらの動向を注視しながらも、何か県として独自の対策ができないか、しっかりと検討していきたい。

(ほかに、投票率向上対策、五浦海岸周辺の崖の侵食対策なども質問)

川口政弥委員(自民) 教育長は、十月末までは、茨城大学で教員の養成をしていたと聞いている。教育の成否を左右する教員の育成については、教育長の思い、その基本的な考えは。

教育長 「教育は人なり」、「子どもたちは可能性の塊である」、この二つを自分の矜持として持っている。教員養成について、大学での養成と教育委

員会の研修、学校現場での校内研修を一本でつなぐ必要がある。そのため、中学生、高校生対象の教職セミナーや大学生対象の教員養成セミナーなど、さまざまな経験を通して教員の魅力を伝え、志願者を増やし採用後に私たちが教員を育てる、その一本の流れを作っていく。

(ほかに、国道六号の四車線化、県道取手東線バイパスの整備なども質問)

設楽詠美子委員(民進) 子どもたちのむし歯予防のために、フッ化物応用を含めた、家庭などでのセルフケア、保育所や教育施設などでのコミュニケーション、歯科医院での定期的なプロフェッショナルケアの充実を図る必要があると考えるが、所見は。

知事 子どもがかかりやすいむし歯予防対策に積極的に取り組むとともに、子どものみならず高齢者も含めて、ライフステージに応じた適切な口腔ケアを推進することが重要である。生涯にわたり定期的に受診できる、かかりつけ歯科医を持つことなどの大切さについて、普及啓発を行っていく。

(ほかに、教員の多忙化解消、全ての人がスポーツを楽しめる国体・障害者スポーツ大会会場の整備なども質問)

江尻加那委員(共産) 東海第二原発の運転を二十年延長させる申請が出されたが、燃料プールや乾式キャスクにある使用済燃料は貯蔵容量のほぼ満杯である。仮に再稼働した場合、最大でも約五年分しか貯蔵できない。六ヶ所再処理工場は本格稼働できず、高レベル廃棄物の地層処分も望めない。核のゴミを増やす再稼働は認められないと考えるが、所見は。

知事 使用済燃料については、今後は発電所敷地内に加え、青森県つづ市に建設中の乾式貯蔵施設で貯蔵する計画となっているため、当面の使用済燃料

の貯蔵能力は確保されていると考える。(ほかに、国民健康保険税の負担軽減、高次脳機能障害者支援、重症心身障害児・者支援と地域包括ケアなども質問)

安藤真理子委員(自民) 開催まで二年を切った全国障害者スポーツ大会の準備状況において、競技会場のバリアフリー対策の進捗および三千五百人が必要とされる運営ボランティアの育成・確保の現状は。

国体・障害者スポーツ大会局長 昨年度は各競技会場のバリアフリー調査を行い、今年度はその調査結果などを基に競技会場整備基本設計を策定している。来年度は各競技会場で必要な設備の種類や数などを決定する。ボランティアについては十月から募集を開始し延べ千五百人を超える申し込みがある。三十年十月から研修を開始するとともに引き続き周知と募集に努める。

(ほかに、小学校でのフッ化物洗口の実施、がん検診受診率向上なども質問)

本澤徹委員(無所属) 森林湖沼環境税を活用し、下水道への接続補助を行う市町村に助成しているが、これにより個人の負担はどの程度軽減されるのか。また、下水道未接続世帯の解消のための今後の取り組みは。

土木部長 霞ヶ浦流域では、下水道供用開始後三年以内に接続した世帯に、市町村は県支援も含め三万二千円から十万円を補助しており、負担は十%から三十%程度軽減されると考えている。今後は、霞ヶ浦流域限定で、供用開始後四年目以降の世帯も補助の対象とするほか、高齢者または児童がいる一定の年収以下の世帯を対象に工事費を全額補助する拡充を考えている。

(ほかに、選挙制度の適切な運用も質問)

先崎光委員(自民) 県産品の輸出促進に当たってはジェット口茨城の活用が

ポイントであり、その連携を深めるとともに、貿易公社のような総合的な窓口が必要と考えるが、所見は。

知事 県ではジェット口茨城と連携し、商談機会の充実を図っている。今後は、共催するセミナーなどで成功事例を紹介するなどし、成果を茨城全体に広げるとともに、市町村などと情報を共有し輸出品の掘り起こしに取り組みむなど、関係機関との連携を強化し、輸出促進に全力で取り組む。総合窓口の設置が重要であり、輸出を一元的に担う専門組織など推進体制の検討を進め、その上で貿易公社の有効性を研究したい。

(ほかに、高齢者の運転免許自主返納、小・中学校教員の負担軽減なども質問)

高崎進委員(公明) 障がい者の雇用促進は社会全体の課題であり、特に県は民間企業の模範となるよう率先して取り組むべきである。今後の障害者雇用促進法の改正に伴い、さらなる雇用促進に向け、どのように取り組むのか。

総務部長 障がい者雇用を促進していくためには、自治体などの公的機関が率先して取り組むことが重要と考える。知事部局では、これまでも障がい者の採用の拡大に取り組んできたところであり、法定雇用率を満たしている状況にある。来年度から、県内各地域の県民センターにおける嘱託職員による障がい者雇用を検討するなど、今後とも雇用の促進に努める。

(ほかに、県民の健康増進、本県畜産業の振興、自殺対策なども質問)

石井邦一委員(自民) 茨城の森林を荒廃からよみがえらせ、森林を守り育むための森林湖沼環境税は、二期十年にわたり取り組まれた大変重要な政策である。今般、四年延長する条例案が提案されたが、どのような考えに基づき延長を決定したのか。

知事 これまで希薄であった、林業経

営を自立化させて、補助金に頼らず長期にわたり森林管理を行うという視点に立ち、抜本的な見直しを行うことにした。例えば、経営上、立地条件が悪い人工林は環境林として広葉樹林化を進めるなど、新たな発想で取り組むことが重要と考え、延長を判断した。

(ほかに、木育の推進による県民意識の醸成、県産木材利用の見える化推進なども質問)

出前委員会を開催しました

県議会では、開かれた議会を目指し、議事堂以外の場所において農林水産委員会(島田幸三委員長)および防災環境商工委員会(鈴木定幸委員長)を開催しました。

【農林水産委員会の開催結果】
○日時 十一月十七日(金) 午後一時

○場所 筑西合同庁舎
○テーマ 「茨城農林水産業の成長産業化の着実な推進」

・新たな需要開拓に向けた輸出の促進
・県オリジナル品種などを活用したトップブランド化の推進
・実需者ニーズに応える加工・業務用野菜産地の育成



【防災環境商工委員会の開催結果】
○日時 十一月二十一日(火) 午後一時三十分

○場所 潮来市中央公民館
○テーマ 「魅力ある観光産業の振興」
・茨城国体や東京オリンピック・パラリンピックなどを見据えたおもてなしの向上
・地域の特性を生かした国内外からの誘客促進
・魅力ある観光地域づくり

